



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小笠原 昭男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 小島 洋司

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,440	△5.0	1,722	△14.0	1,803	△10.4	1,023	△4.9
23年3月期第2四半期	28,884	9.1	2,002	18.7	2,013	16.6	1,076	13.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 879百万円 (74.2%) 23年3月期第2四半期 504百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.13	—
23年3月期第2四半期	7.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	73,181	54,205	74.1
23年3月期	77,194	54,017	70.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 54,205百万円 23年3月期 54,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,700	△1.5	1,980	△15.9	2,000	△13.9	1,100	△14.3	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

※詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	153,256,428 株	23年3月期	153,256,428 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	9,737,359 株	23年3月期	9,879,893 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	143,447,752 株	23年3月期2Q	143,303,203 株

(注)自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は11月11日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、震災後の急速な回復もあり、景気に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、急激な円高や欧州における金融不安が国内経済に波及し、先行きは依然不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、先行きの不透明感を背景に消費マインドの低迷が続くなか、少子高齢化、消費者の低甘味嗜好、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比5.0%減の27,440百万円となり、経常利益は前年同期比10.4%減の1,803百万円、四半期純利益は前年同期比4.9%減の1,023百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

海外砂糖相場は、期初27.44セント(ニューヨーク粗糖先物相場(期近)、ポンド当たり)で始まり、主要生産国タイの記録的な増産見込みなどにより需給逼迫感が後退したことから5月には20.47セントまで下落しましたが、世界最大の生産国ブラジルの天候不順による減産懸念などにより需給逼迫観測が強まったことや価格下落を受けた輸入国の需要増加などから、7月には31セント台に上昇しました。その後、タイ、EU、ロシアなど北半球主要生産国での大幅な増産見込みや投機資金の流出などから、相場は下落し、26.34セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内砂糖市況は、期初189～190円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まりましたが、海外砂糖相場の下落を受けて、7月に185～186円に下落し、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、国内砂糖市況の上昇に伴い販売価格は上昇しましたが、平成22年産糖の大幅な生産の落ち込みを受け、原料糖の販売量が大きく減少し、売上高は前年同期を下回りました。

精糖は、関東および東北地区を中心とした夏期の電力供給量不足懸念からの前倒し生産や梅雨明け直後の猛暑により、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比11.0%減の19,920百万円となり、セグメント利益は前年同期比31.1%減の1,491百万円となりました。

<食品事業>

イーストは、拡販ならびに新規顧客獲得等の販売努力により、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

オリゴ糖等機能性食品は、東日本大震災の影響で販売が一時的に落ち込んだため、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比1.5%減の1,265百万円となり、64百万円のセグメント損失(前年同期は49百万円のセグメント損失)となりました。

<飼料事業>

配合飼料は、販売が順調に推移し、販売価格が上昇したこともあり、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

ビートパルプは、繰越在庫が前年同期より減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比13.0%増の3,226百万円となり、104百万円のセグメント損失(前年同期は180百万円のセグメント損失)となりました。

<農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用紙筒の出荷時期が早まったこともあり、売上高は前年同期に比べ大幅に増加しました。

農業機材は、育苗培土等の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比 73.5%増の 1,634 百万円となり、セグメント利益は 85 百万円（前年同期は 114 百万円のセグメント損失）となりました。

<不動産事業>

不動産事業におきましては、不動産市況低迷の影響を受け、減収となりました。

不動産セグメントの売上高は前年同期比 3.7%減の 640 百万円となりましたが、維持経費が減少したため、セグメント利益は前年同期比 30.1%増の 397 百万円となりました。

<その他>

その他の事業におきましては、貨物輸送が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

その他のセグメントの売上高は前年同期比 1.2%増の 752 百万円となり、83 百万円のセグメント損失（前年同期は 129 百万円のセグメント損失）となりました。

（注）セグメント利益または損失は、営業利益または損失であります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 4,012 百万円減の 73,181 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 3,750 百万円減の 38,921 百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比 262 百万円減の 34,260 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 4,200 百万円減の 18,976 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 3,876 百万円減の 10,776 百万円となり、固定負債は、主に預り保証金の減少により前連結会計年度末比 324 百万円減の 8,200 百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 187 百万円増の 54,205 百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,954 百万円の収入となり、前年同四半期に比べ、3,923 百万円の資金の減少となりました。

これは、主にたな卸資産の減少額の減少により 1,965 百万円、売上債権の増加により 1,397 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3,513 百万円の支出となり、前年同四半期に比べ、2,227 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有価証券の償還による収入により 2,000 百万円、定期預金の収支差により 200 百万円の収入増となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6,689 百万円の支出となり、前年同四半期に比べ、1,289 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に短期借入金の収支差により 1,200 百万円の支出減となったことによるものであります。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 310 百万円増加し、7,736 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年産原料甜菜が、春先からの天候不順に加え、秋の登熟期に高温と多雨が続いたことにより、糖分が低い低品質の原料となることが懸念される状況にあり、製造コストの大幅な上昇が見込まれるため、平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想を次のとおり修正いたします。

平成24年3月期 連結業績（通期）予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,000	2,440	2,500	1,400	9.76
今回修正予想 (B)	57,700	1,980	2,000	1,100	7.67
増減額 (B - A)	△2,300	△460	△500	△300	—
増減率 (%)	△3.8	△18.9	△20.0	△21.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	58,553	2,353	2,323	1,283	8.96

<参 考>

平成24年3月期 個別業績（通期）予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	57,200	1,960	2,000	1,080	7.53
今回修正予想 (B)	55,900	1,490	1,500	800	5.58
増減額 (B - A)	△1,300	△470	△500	△280	—
増減率 (%)	△2.3	△24.0	△25.0	△25.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	55,920	1,918	1,906	1,055	7.37

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,284	2,936
受取手形及び売掛金	6,851	8,224
有価証券	6,700	9,900
商品及び製品	19,346	6,909
仕掛品	1,142	270
原材料及び貯蔵品	2,953	3,999
その他	1,393	6,682
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	42,671	38,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,722	11,349
その他(純額)	12,306	12,701
有形固定資産合計	24,028	24,050
無形固定資産		
	372	372
投資その他の資産		
投資有価証券	9,569	9,332
その他	557	508
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	10,122	9,836
固定資産合計	34,523	34,260
資産合計	77,194	73,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,096	1,069
短期借入金	8,126	2,102
未払法人税等	110	796
その他	5,317	6,808
流動負債合計	14,652	10,776
固定負債		
長期借入金	360	393
退職給付引当金	3,695	3,729
役員退職慰労引当金	6	7
その他	4,462	4,069
固定負債合計	8,524	8,200
負債合計	23,176	18,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	38,409	38,710
自己株式	△2,134	△2,102
株主資本合計	52,960	53,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,055	913
繰延ヘッジ損益	1	△0
その他の包括利益累計額合計	1,057	913
純資産合計	54,017	54,205
負債純資産合計	77,194	73,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	28,884	27,440
売上原価	19,705	19,535
売上総利益	9,178	7,905
販売費及び一般管理費		
販売費	5,534	4,843
一般管理費	1,640	1,339
販売費及び一般管理費合計	7,175	6,183
営業利益	2,002	1,722
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	196	146
持分法による投資利益	—	5
その他	22	33
営業外収益合計	226	194
営業外費用		
支払利息	73	61
固定資産処分損	89	25
持分法による投資損失	23	—
その他	28	25
営業外費用合計	215	113
経常利益	2,013	1,803
特別利益		
固定資産売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	0	—
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産処分損	44	18
投資有価証券評価損	40	3
その他	13	1
特別損失合計	97	22
税金等調整前四半期純利益	1,919	1,783
法人税等	843	760
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	1,023
四半期純利益	1,076	1,023

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△572	△142
繰延ヘッジ損益	1	△1
その他の包括利益合計	△571	△144
四半期包括利益	504	879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	879
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,919	1,783
減価償却費	1,238	1,271
持分法による投資損益 (△は益)	23	△5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△77	34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	1
受取利息及び受取配当金	△203	△155
支払利息	73	61
投資有価証券評価損益 (△は益)	40	3
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△4
有形固定資産除却損	20	25
売上債権の増減額 (△は増加)	27	△1,370
たな卸資産の増減額 (△は増加)	14,230	12,264
前払費用の増減額 (△は増加)	△135	△164
未収入金の増減額 (△は増加)	144	98
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,500	△5,226
仕入債務の増減額 (△は減少)	482	△27
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△148	△379
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,496	1,724
その他	△36	11
小計	14,576	9,945
利息及び配当金の受取額	200	151
利息の支払額	△88	△66
保険金の受取額	0	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△810	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,878	9,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△1,100
定期預金の払戻による収入	200	1,000
有価証券の取得による支出	△4,000	△4,000
有価証券の売却及び償還による収入	—	2,000
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△1,098	△1,138
有形固定資産の売却による収入	17	16
預り保証金の返還による支出	△261	△262
その他	△94	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,740	△3,513

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,060	2,220
短期借入金の返済による支出	△9,230	△8,190
長期借入れによる収入	130	130
長期借入金の返済による支出	△231	△152
配当金の支払額	△710	△714
自己株式の取得による支出	△21	△1
自己株式の売却による収入	29	26
リース債務の返済による支出	△6	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,979	△6,689
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157	△247
現金及び現金同等物の期首残高	7,268	7,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,425	7,736

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,394	1,284	2,854	942	664	28,140	743	28,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	13	—	—	38	52	1,390	1,443
計	22,394	1,297	2,854	942	703	28,193	2,133	30,327
セグメント利益 又は損失(△)	2,337	△102	△208	△202	306	2,131	△134	1,997

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,131
「その他」の区分の損失(△)	△134
セグメント間取引消去	4
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,002

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,920	1,265	3,226	1,634	640	26,687	752	27,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	13	—	3	38	56	1,004	1,060
計	19,920	1,278	3,226	1,638	679	26,744	1,756	28,501
セグメント利益 又は損失(△)	1,491	△64	△104	85	397	1,804	△83	1,720

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,804
「その他」の区分の損失(△)	△83
セグメント間取引消去	1
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,722

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間からセグメント損益を実態に即し、より正確に把握するため、研究開発費等の配賦方法を変更し、事業セグメントの利益又は損失を算定しております。

なお、変更後の算定方法により作成した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

○報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,394	1,284	2,854	942	664	28,140	743	28,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	13	—	—	38	52	1,390	1,443
計	22,394	1,297	2,854	942	703	28,193	2,133	30,327
セグメント利益 又は損失(△)	2,165	△49	△180	△114	305	2,126	△129	1,997

○報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,126
「その他」の区分の損失（△）	△129
セグメント間取引消去	4
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,002

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。